

2017 年度事業報告書

特定非営利活動法人 アジア女性自立プロジェクト

I 事業概観

概要	成果と課題
<p>2017 年度は小規模の体制を踏まえ、効果的な事業実施ができるように全体として取り組んだ。</p> <p>海外事業は生産者の女性たちとの対話を通じてニーズに沿ったフェアトレード事業を心がけた。国内事業は、「外国人女性のための役立つインフォメーション」の改訂版の発行など社会のニーズに沿った情報提供に努めた。</p> <p>事業の実施体制面では、学生ボランティアやインターンを迎えた。</p> <p>事業の予定、製品の PR、イベントの案内だけでなく、活動の様子や活動している人の様子が伝わるようにウェブサイトや SNS での発信を積極的に行った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・フェアトレード事業では売上の伸び悩みがあまり改善されていないが、財務全体として赤字を解消できた ・動きのない在庫を減らして在庫の適正な管理ができた。 ・ネパールを訪問し直接現地とやり取りして今後の方針と事業について合意できた。この後のフォローのあり方が重要になる。 ・学生ボランティアやインターン生を新たに迎えた。主体的に活動しネパール事業や国内事業などで活躍した。学生、一般含めてボランティアの活動内容を充実させたい。 ・ウェブサイトなどをみて講師依頼や視察依頼があった。PR があまりできていないので打ち出しがポイントになる。

II 事業の実施に関する事項

1 海外事業

(1) フェアトレード等を通じた女性の自立を促進する活動

実施内容			
2017 年度の仕入れは次の通り			
・海外仕入費	合計	377,475 円	
フィリピン	49,221 円	インドネシア	70,650 円
タイ	145,954 円	ネパール	111,650 円
・国内仕入費	合計	123,719 円	

① フェアトレード生産者のエンパワメント

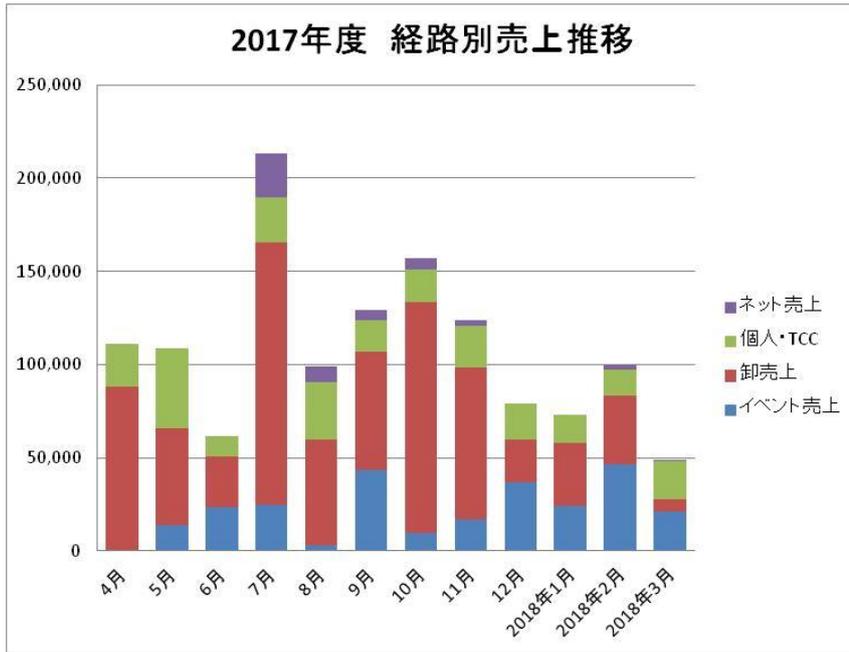
生産者	実施内容・生産者状況	成果と課題
Lampara house (フィリピン)	<ul style="list-style-type: none"> ・発注製品種類数：3 ・新製品 	<ul style="list-style-type: none"> ・定番のスリッパについて布の変更に伴いサイズの問題が発生した。

	<p>ティナラックタックバッグ (バティック裏)、お薬手帳入れ、ヤカン布オープンスリッパ。</p> <p>・その他アジアの布展用として、ピンニャマーガレット、ティナラックポケット付きエコバッグを仕入れた。</p>	<p>・ティナラックの仕入れがやや困難。在庫をどの程度置くのかマネジメントが必要。</p>
<p>APIKRI (インドネシア)</p>	<p>・発注製品種類数：5</p> <p>・バティック布ネックレス、木製ペンダント、木製ネックレス (新規)。ミニチュア鉄琴と布ネックレスは追加注文中。</p> <p>・布や木製アクセサリを新たに注文。売上が好評だった。布ネックレスは再注文中である。</p> <p>・楽器の発注を一新。太鼓の代わりにミニ鉄琴、ハンドドラムに。人気のカリンバを発注するも生産者が見つからずペンディングに。新しいデザインのネコの置物はロット数と値段で断念。</p>	<p>・製品のモデルが若干イメージと異なるなど、問題が発生した。</p> <p>・楽器は修理の必要なものもあり、現地での発送前チェックを求めている。</p>
<p>KPTB (インドネシア)</p>	<p>・本年度も発注を見合わせた。</p>	<p>・関係性をどうするのか、検討が必要。</p> <p>・イベント時のみ手描きのバティックを仕入れるなども検討中。</p>
<p>BTF (タイ)</p>	<p>・発注製品種類数：3</p> <p>カードホルダー、モン藍染布コンビショルホルダーバッグ、モン族古布トートバッグ</p> <p>・2月に担当理事が訪問。生産者人数が減少したまま。今後の組織運営に危機感あり。</p>	<p>・BTF が今後生産者組織としてどのように維持されるべきか検討が必要。</p>
<p>Shakti Samuha (ネパール)</p>	<p>・発注製品種類数：2</p> <p>フェルトてんとう虫、ミニマフラー (発注中) サリーとフェルトのショール検附中 (サンプル 10 枚発注)</p> <p>12月に現地訪問。さをり織り機や生産、女性たちの状況などを確認。</p>	<p>・さをり織り事業に活用する目的を定め、MOU を交わし寄付金を渡すことができた。</p> <p>・さをり織りを継続してやりたいという女性の確認できた。</p>
<p>MKS Handicraft (ネパール)</p>	<p>・発注製品種類数：3</p> <p>ニット花ブローチ、ニット帽子とスヌードを注文中。</p> <p>・従来取引あったが、2018年から個別の取引先とした。</p>	<p>・日本人女性がオーナーということもありやりとりしやすい。</p> <p>・生産に関わる女性たちの状況について、やや情報が少ないところもあるので、渡航時に面会の機会をつくりたい。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・水牛の骨ストラップの発注は Shakti から MKS に変更。 	
NJ craft (ネパール)	<ul style="list-style-type: none"> ・発注製品種類数：1 ・ミニトート注文中 ・従来取引あったが、2018 年から個別の取引先とした。 ・縫製作業自体は男性職人である。オーナーは女性企業家。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘンプ布の生産を女性が担っているため、ヘンプの布をさをり織りと組み合わせて製品開発ができないか検討中。

②国内販売活動によるフェアトレードの促進

項目	実施内容	成果と課題
製品企画開発	<p>製品会議を毎月開催し、製品開発につながられた。新しいデザインの製品の実現化が出来た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規開発製品種の数：3 点（フィリピン 1、タイ 2） 	<ul style="list-style-type: none"> ・素材不足などによる入荷遅れが発生し、適時に販売できないことがあった。
製品管理	<ul style="list-style-type: none"> ・タグの見直し。紙タグは 1 枚 8 円掛かるため内部で作成する方針に変更した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どの製品に AWEF 布タグをつけるべきかの基準が生産者と AWEF で認識を共有する必要がある。AWEF 開発の製品を生産者が他の小売業者に卸している場合もある。
販売促進	<ul style="list-style-type: none"> ・卸販売した店舗数は 53 件（入金ベース）であった。 ・店舗メールを 7 回発信した。 ・イベント出店を絞り、本年度は 15 回出店した。 ・ネット通販 BASE と SoooooS. での販売を継続。BASE 同様に SoooooS. での掲載点数も増やした。 ・ネット販売数は BASE16 点、SoooooS. 12 点であった。 ・ふるさと納税返礼品の提供数は 3 点であった。 ・「アジアの布と女性の手仕事展」を 4 か所（名古屋、岩手、神戸、東京）で開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度同様の課題が残っている。取引実働店舗数、イベントの機会が少なくなっている。販売機会や収益を上げるか。 ・掲載点数の増加や広報により前年度よりも売り上げ点数はやや増えた。ネット販売を主軸にできるよう力を入れる必要がある。 ・提供数が低調。神戸市市民協働推進課と協議の上返礼品種を増やす方針である。 ・2 年目の取組み。開催数が前年度より 2 か所増え、またミニセミナーを開催するなど充実させることができた。アジアについての関心を高めることとともに売り上げにつながる場として、引き続き力を入れたい。



(2) 女性のエンパワメントに資する活動

項目	実施内容	成果と課題
スタディツアー	・フィリピンツアーを企画したが希望者なく実施できなかった。	・小規模のグループツアーとして、タイツアーを企画する。

2 国内事業

(1) 日本に住む外国人女性の生活相談や情報提供を通じた生活支援

項目	実施内容	成果と課題
① 生活相談事業	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週水曜日に電話相談、及び来所による相談対応 (14 件) ・NGO神戸外国人救援ネットをはじめとした関連団体への紹介・面談同行といった対応を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談シートを改訂してデータとして管理し相談対応に生かすための整備ができた。
② 情報提供事業	<ul style="list-style-type: none"> ・あんしん通信の発信 (No. 243 から No. 263 まで全 21 回) ・あんしん通信の発信内容選定ガイドライン策定、明文化。 ・『外国人女性のための役だつインフォメーション』改訂版作成 (150 部) 	<ul style="list-style-type: none"> ・あんしん通信発信後は、データをウェブサイトに掲載しアーカイブ化。後にも活用できるようにした。情報拡散としてフェイスブックにも転載した。発信のガイドラインを改めて明確化、明文化し、ホームページにも掲載した。 ・『役だつインフォメーション』は情報の

		アップデートとともに、日本語をよりやさしい表現へと変更。今後、関連団体や各国国際交流協会などへ配布し活用してもらう。
--	--	--

(2) 共生社会を創り出すための交流・啓発・アドボカシー活動

項目	実施内容	成果と課題
① 他団体との関係強化	<p>1. NGO神戸外国人救援ネット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営委員に鋤柄理事 ・運営会議出席（毎月第2月曜日）。 <p>2. ひょうごDV被害者支援連絡会（HYVIS）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HYVIS 代表に鋤柄理事（2017年度末まで） ・兵庫県内の女性支援団体との定例会議出席（4月、6月、8月、10月、12月、2月の6回）。神戸市、兵庫県のDV被害者支援担当者との懇談。 ・HYVIS 主催の公開講座実施 <p>1) 平成29年度兵庫県DV防止出前講座開催事業 公開講座『安全な面会交流のために必要なこと』（2017年10月28日（土）於：あすてっぷこうべ 参加者：43名</p> <p>2) 平成29年度神戸市DV被害者支援者養成研修事業 公開講座『対人援助職・支援者向け ボディワーク&アートセラピー』（2018年3月18日（日） 於：結水荘 参加者：16名）</p> <p>3. 「移住労働者と連帯する全国ネットワーク」 全国フォーラムにもりき理事が参加（6月17、18日 於：福井）。</p> <p>4. 「関西NGO協議会」設立30周年記念に奈良理事が出席（2018年3月30日）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2017年度も継続して救援ネットとHYVISの定例会、関係会議等に参加。情報共有と交流を図り、連携を深めることができた。
② 勉強会、セミナーの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・日傘づくりワークショップの試行（7月1日、8日）参加：6名 ・アジアの布に親しむセミナー（7月15日）参加：6名 	
③ 通訳翻訳	<ul style="list-style-type: none"> ・関西学院大学での人権セミナーで招へい 	

等依頼のコーディネート	されたシャクティ・サムハの理事チャリマヤ・タマンさんの通訳同行（6月19、20日）	
④講師派遣 ・視察訪問受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> ・講師派遣2件 須磨友が丘高等学校「異文化理解」23名（5月24日） 宝塚市男女共同参画センター・エル「女性セミナー」10名（2018年1月20日） ・視察訪問3件 JICAタイ人研修受け入れ20名（11月9日） 明治学園高等学校（北九州市）2名（11月15日） 関西学院大学総合政策学部吉野ゼミ4名（2018年2月19日） 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に広報はしていなかったが講師派遣の依頼があった。今後はウェブサイトでも広報し対応可能な範囲で応じていきたい。 ・また研修や視察の依頼は、ウェブサイトでもAWEPを見つけて関心を持ったことがきっかけになっていることがある。視察の受け入れについてもウェブサイトでも明記するなど可能な範囲で対応してする。
⑤連携事業	実施なし	

3 組織運営・その他

項目	実施内容	成果と課題
ニュースレター	No.46（6月）、No.47（12月）の発行（各500部）	・紙面で配布するとともに、ウェブサイトにも掲載し、広く活動を紹介することができた。
ボランティア・インターン	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動のべ79人 ・新規ボランティア5名（登録ベース） ・インターン受け入れ1名（名桜大学1名中西こころさん） 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くのボランティアの方が販売や事務作業に携わっていただいたおかげで事業や組織運営が支えられた。 ・活動の内規が未整備である。
ネット広報ツール	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェブサイト、フェイスブック、ツイッター、インスタグラム ・ウェブサイトは24回更新 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェブサイト等からAWEPの活動に関心もっていただけることが増えている。 ・インスタグラムが十分活用できていない。
ファンファンパーティー（資金開拓）	未実施	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度も体制が整わず実施できなかったが、GOCHISO*サイトに登録した。（今のところ実績はない）*レストランに予約の上飲食した場合その代金の一部をNPOに寄付するシステム。
AWEP説明会	・5回開催（5/24,6/3,7/5,7/26,10/2）（参加者7人）	<ul style="list-style-type: none"> ・希望者と日程調整しその都度開催した。 ・説明会参加者で活動実績があるのは2名。

4. 助成金の実績

助成金名	事業名	助成額	内容
公益信託 神戸まちづくり六甲 アイランド基金	在日外国人女性に向けた情報発信・相談活動とその促進事業	500,000 円	相談事業、あんしん通信事業、 『外国人女性のための役だつインフォメーション』改訂版作成

Ⅲ 事業の実施体制

項目	内容
会議	<p>①通常総会 2017年5月20日</p> <p>②理事会 4月22日、5月20日、8月19日、12月16日、3月24日</p> <p>③事務局会議 原則毎月第1水曜日に開催</p> <p>④製品開発会議 原則毎月第1水曜日に開催</p>
事務局の体制	<p><スタッフ> (敬称略)</p> <p>①全体統括・会員・広報関連：奈良雅美 代表理事</p> <p>②事務局長 (総務・財務)：鋤柄利佳 理事</p> <p>②海外事業国内部門担当：村上菜摘 理事</p> <p>③国内事業統括：鋤柄利佳 理事</p> <p>④その他事業担当：</p> <p>海外事業フィリピン担当：もりきかずみ 理事</p> <p>海外事業タイ担当：村上菜摘 理事</p> <p>ファンドレイズ・会員支援者関係担当：奈良雅美 理事</p> <p><事務局ボランティア> (五十音順、敬称略) (2018年3月時点)</p> <p>井之上章子、いなだ多恵子、岡内克江、笠原幸子、鹿嶋節子、チェイス洋子 杜 韻頌、もりきかずみ</p>
会員	運営会員 29名 賛助会員 60名 *2018年3月末現在 (下記に一覧)
他団体との連携	<p><地域></p> <p>特活) たかとりコミュニティセンター (神戸市長田区)：同センター所属のメンバーとして連携し地域の活動に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例連絡会 (毎月第1、3土開催) ・理事会への理事派遣 (年4回開催) <p><女性支援・外国人支援></p>

	<p>1. 神戸外国人救援ネットの運営委員としての活動（鋤柄）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営会議出席（毎月第2月曜日）。 <p>2. ひょうごDV被害者支援連絡会（HYVIS）の構成団体としての活動（鋤柄）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県内の女性支援団体との定例会議出席（偶数月第4水曜日）。 <p>3. 「移住労働者と連帯する全国ネットワーク」の全国ワークショップに参加（もりき） （2017年6月17日、18日 於：福井市）。</p> <p><国際協力></p> <p>特活）関西NGO協議会（大阪市）：準会員として参加</p>
--	--

運営会員 （29名、内1名匿名）五十音順 敬称略	
<p>青山由香 縣晶子 朝倉克己 いなだ多恵子 大森恵実 岡内克江 岡埜ゆかり 太田和宏 笠久恵 鹿嶋節子 神田慧太 木村淳子 木村寿子 小西三洋 定藤繁樹 鋤柄利佳 高木健作 武田 丈 チェイス洋子 仲尾育哉 奈良雅美 日比野純一 藤川真澄 村上菜摘 もりきかずみ 森田次美 吉田和代 吉野太郎</p>	
賛助会員 （60名、内5名匿名）五十音順 敬称略	
<p>有吉真紀 石山智子 市川栄見子 井原由紀子 海野治子 占部 太 王貴美子 岡崎洋子 岡田輝弥子 笠原幸子 河野静子 木村恵子 堺方子 坂本勝 坂本陽子 梶月太郎 佐渡いづみ 嶋内良則 清水晴美 白井廣美 杉戸ひろ子 鈴木迪子 スペンサー絢子 特定非営利活動法人すまみらい 高木澄子 太治和美 谷口幸子 中川加代子 中嶋秀昭 中野由貴 中森俊久 西海ゆう子 西脇鈴代 長谷川美代子 服部尚美 原田裕子 ビーンズ・アクト 飛田雄一 平等文博 藤井智子 藤田ふみ子 不破久美子 松代東亜子 三谷順子 宮崎千鶴 南場美紀 三好宣子 村田裕子 森屋裕子 モニカ・ヘレン・マカラエグ・カヒログ 山本裕子 尹英順 若月由美子 矢野淳子 山田 恵 吉田昌子</p>	
役員 五十音順 敬称略	
<p>理事：青山由香 太田和宏 大岡栄美 定藤繁樹 鋤柄利佳 奈良雅美 村上菜摘 もりきかずみ</p> <p>監事：いなだ多恵子 仲尾育哉</p>	



<写真の説明>

左上 にわのあかりでの販売

右上 シャクティサムハとの協議の様子

左下 あすたくにづかでのイベント販売

右下 北九州市からの高校生訪問